

② 調査結果の集計及び分析

小問	解 答 分 類	解答率 (%)	小問	解 答 分 類	解答率 (%)
1	ア さち子は (正答)	50.9	5	ウ こどもたちは (正答)	52.1
	イ ハンカチを	48.5		カ 家に	23.4
	その他	0.6		オ やめて	8.2
2	ウ 雪が (正答)	77.8		エ 遊ぶのを	7.6
	イ くもってきて	14.0		イ しずんだので	5.8
	ア 空が	6.4		ア 日が	2.3
	その他	0.6		その他	0.6
	無解答	1.2			
3	ア 太郎は (正答)	28.6		6	ア たんぼぼは (正答)
	エ 魚つりに	42.8	ク わた毛を		35.6
	ウ 二人で	21.6	エ 花を		7.6
	イ 弟と	5.8	カ やがて		7.6
	その他	0.6	イ 春に		7.0
	無解答	0.6	キ 白い		4.7
4	ウ わたしは (正答)	40.3	ウ 黄色い		1.8
	オ ながしてやろうと	33.9	オ さかせ		1.2
	エ 小鳥を	13.5	その他		0.6
	イ しばらくして	9.4			
	ア それから	2.3			
	その他	0.6			

分 析

小問1は、「主語」「述語」の概念をつかんでいるかどうかを調べる設問である。選択肢が2つしかないので、正答率も高いだろうと予想したが、50.9%であった。「主語」「述語」の基本的な理解が、不足しているといえる。

小問4～6の誤答をみると、児童は、述語の前にある文節を選ぶ傾向がみられる。小問2は、文中にある主語を見つけることができるかどうかを調べる設問である。小問1に比べて正答率は、26.9ポイント高くなっているが、これはウの「雪が」を、他の小問の場合と同じように、述語の前にある文節を選んだために高くなったものと考えられる。

小問の構成にあたっては、選択肢を増やしたり、重文や複文にしたりしたが、述語のすぐ前の文節を選ぶ誤答傾向は変わらなかった。